

月刊 きょうと教育通信

Vol. 18 平成16年5月号 発行：京都市教育委員会企画課（222-3768）

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

学校・家庭・地域ぐるみで安全を 第1回「子ども安全会議」を開催

近年、学校内や通学路において、子どもの安全に関わる事件・事故が全国的に多発してきており、学校・家庭・地域の連携による子どもの安全対策が今まで以上に重要となってきています。

本市では、4月21日、学校やPTA、人づくり21世紀委員会等の参画により、子どもの安全対策を総合的・系統的に推進するため、「京都市子ども安全会議」を発足しました。



会議で提案されたステッカー。早速、公用車に貼り、子どもたちの安全をパトロールしています。



会議では、各校・地域における具体的取組事例を紹介し、活発な論議を展開。その中で、PTA代表から、京都市の公用車に「パトロール中」というステッカーを貼ってはどうかとの提案がありました。それを受け、5月10日から、メルカーなど教育委員会の車に貼り、子どもに危険があることを発見した場合は、一時保護や学校・園、警察等への連絡を行うという新たな取組をスタートしました。

会議ではこの他、「危機感」「使命感」を持って地域ぐるみで子どもを守る具体的な取組を展開することを確認しました。

ご意見・お問合せ＝体育健康教育室（213-5472）

市立高校が輝かしい実績を達成！

進学状況

普通科系4校（堀川・日吉ヶ丘・紫野・塔南）の4年制大への現役合格率は、59.2%と、過去最高を更新。

堀川高校では東大に現役2名、京大に40（現役32）名が合格し、現役での京大・東大合格者数は、全国公立高校トップに！卒業生245名中135名が現役で国公立大に合格。また、音楽高校では、私立の名門、桐朋学園大に2（現役1）名、京都市立芸術大に12（現役8）名、東京芸術大に現役3名等、国公立大学に15（現役11）名が合格。塔南高校でも現役で39名が国公立大に。紫野高校においても京大に6名が合格するなど、生徒と教職員の努力の成果が実を結びました。

就職状況

厳しい経済情勢の中、全教員が企業を訪問して求人開拓を行うなど懸命な努力の結果、洛陽工業・伏見工業で就職希望者の内定率が100%を達成。全日制全体でも99.1%の内定率を確保。また、定時制でも97.9%と昨年度から大幅に向上しました。

ご意見・お問合せ＝学校指導課（222-3811）

< 5月の主なできごと >

- 10日 中央教育審議会教育制度部会に門川教育長が出席。教育長は、中教審の教育制度、幼児教育の2部会の委員を務める。以降、幼児教育部会は17、21、31日、教育制度部会は31日に開催。
- 11日 感動を呼ぶ「生き方探究・チャレンジ体験」が今年度もスタート！花背第二中生徒が額に汗して、新聞記者や本屋・トリエの店員に挑戦。
- 17日 卓球台等体育用具の安全確認を！神戸市での卓球台による死亡事故に伴い、全学校・園に緊急通知。
- 19日 京都市交響楽団が東総合養護学校を訪問。西総合・北総合・呉竹総合で順次開催
- 14日 市議会が開会。不登校の子ども達の進路展望を切り拓く「洛風中学校」の設置や府内初で民間のアイデア・技術力を活用するPFI手法による「京都御池中・複合施設整備」契約議案が審議される。
- 24日 「これからの教育を考える懇談会（第2回）」。全国の市長を代表し委員に就任した榎本頼兼市長が教員のあり方について提言。
- 27日 「わが子の父親から地域のおやじへ」。『おやじの会』開設説明会を開催。

校長・園長が一堂に！

本市教育の重点方針を確認する研修会を開催

教育こそが京都の未来を切り拓く～自信と誇りを持ち、更なる教育改革へ邁進しよう！

4月13日、校長、園長、教委幹部職員650人が参加して、今年度の本市教育の重点方針を確認し、更なる前進を誓う伝統の校長・園長研修会が開催されました。

田中鶴子教育委員長から京都の教育が輝かしい前進をしていることへの感謝とさらなる期待を込めた挨拶の後、門川大作教育長が、「明治初期に、『教育こそが京都の未来を切り拓く』との思いで、学校を創設してきた先人達に学び、『京都の教育が京都の未来、日本の未来を創っていく』、そんな京都の教育になるよう共に努力していきたい。」と決意を述べました。

その後、谷口賢司教育政策監、高桑三男教育次長が、本市教育の一層の充実に向けた思いを述べ、引き続き、「指導の重点」「生涯学習の方向と施策の展開」「教育予算の概要」が各部長から説明され、参加者全員が本市教育の新たな展望を切り拓く決意を新たに、熱気溢れる場となりました。

また、今回、来年度に京都市と合併予定の京北町からも3名の校長が参加され、交流が深まりました。

本大好きな子どもを育てるために...

市民とのパートナーシップの下、社会全体で取り組む
～「子ども読書活動推進計画」を策定～

このたび、本市では、市民とのパートナーシップの下、「京都市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

この推進計画は、学識経験者、作家、市民公募委員等、多彩な方々が参画する「京都市子ども読書活動振興市民会議」が、昨年末、約2年にわたる協議・活動内容を踏まえて作成した「子どもの読書活動振興のためのアピール」に基づいています。

平成16～20年度の5年間で各施策・取組の具体的な実現を目指すもので、「朝読書」の3年以内の全中学校での実施や「絵本ふれあい事業」の全保健所・支所（14箇所）での実施（今年度中）、子どもの読書活動推進に貢献された方に対する新たな顕彰制度の創設（今年度中）など、本市の特色を活かした各施策・取組を示しています。

ご意見・お問合せ＝社会教育課（222-3800）



門川教育長が教職員に期待!!



子ども一人一人を大切に！この重要な改革の時期に、常に使命感、スピード感、危機感を持ち、より高い目標を掲げて学校運営に邁進しよう！

家庭・地域と連携の下、徹底して内外に開かれた学校づくりの更なる推進を！

校長の裁量権を拡大し、これからは学校分権の時代。更なる特色ある学校づくりを！

ご意見・お問合せ＝企画課（222-3768）

合唱団OB、世界的指揮者・佐渡裕氏も応援

「京都市少年合唱団を育む会」が発足！

会員募集中

芸術のまち 京都で、子どもたちが音楽への情熱をもって世界に羽ばたいていけるよう「京都市少年合唱団を育む会」が発足。子どもたちの歌声が世界に響き渡り、音楽文化が咲き誇る京都を創造するためにも、皆様の熱い思いをぜひお寄せください。

<個人会員> 年間1口 3,000円

<法人・団体会員> 年間1口 20,000円

CDプレゼント、演奏会ご招待、演奏会プログラムへの広告及びご芳名掲載ほか、会員特典多数！

<お問合せ・申込> 生徒指導課（213-5622）

ホームページアドレス <http://www.kcjcc.jp> から申込可。

少年合唱団を世界へ！
僕も最大限の努力をします。
(佐渡裕氏)



育む会メンバー

名誉会長 河合隼雄氏(文化庁長官)

顧問 千宗室氏(裏千家16代家元)、加藤登紀子氏(歌手)

池坊由紀氏(華道家元池坊次期家元)

佐渡裕氏(指揮者、合唱団OB)、榊本頼兼(京都市長)

会長 福澤昌彦氏(合唱団名誉指揮者)

副会長 蔵田裕行氏(市立芸大名誉教授)

村田享子氏(市音楽芸術文化振興財団理事)

岡本正氏(京都青年会議所理事長)、門川大作(京都市教育長)